

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

帯広市立愛国小学校

本年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(5年生)」の結果から、本校の児童の傾向についてお知らせします。

	体力テスト種目	体力要素
①	握力	筋力
②	上体起こし	筋持久力
③	長座体前屈	柔軟性
④	反復横とび	敏捷性
⑤	20m シャトルラン	持久力
⑥	50m 走	走力
⑦	立ち幅とび	瞬発力
⑧	ソフトボール投げ	巧緻性・投力

〈実技に関する調査〉

- 体力合計点は男子が全国平均を大きく上回り、女子は下回る結果となりました。
- 握力は、男女ともに全国平均を大きく上回る結果となりました。
- 長座体前屈は男女ともに全国平均を大きく下回る結果となりました。
- 男子の20mシャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げは全国平均を大きく上回る結果となりました。

〈児童質問紙〉

- 全員が「運動が好き」「運動は大切」「中学校で授業以外でも自主的に運動したい」と回答しました。体を動かすことに対する意欲が高いことがわかりました。
- 1週間の総運動時間(体育の授業以外の運動やスポーツの時間)は、平日は運動する時間が全国平均より長い傾向に対し、土日は全国平均より短い傾向があります。
- 全員が朝食を毎日食べると回答し、8時間以上の睡眠時間が確保されています。規則正しく、良い生活習慣が身につけていることがうかがえます。
- 平日(月～金)のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンの使用状況は男子より女子が使用時間が長い傾向があります。
- 「体育の授業で、ICTを使った学習で『できたり、わかったり』すること」が、「いつもある、だいたいある」と回答しています。

〈今後に向けて〉

- 今年度も、「運動が好きな児童が多い」結果となりました。授業時間以外にも、日常的に運動に親しむ取組の一環として、体育館に一輪車や卓球台を常設しています。休み時間には、ほとんどの児童が一輪車、卓球、バスケットボール、ミニバレー、サッカー等を楽しむ姿が見られます。今後も、日常的な運動量の確保を進めるとともに、体育の授業では体づくり運動を取り入れたり、持久力を高める運動を取り入れたりするなど、運動能力向上に向けた環境づくりに努めます。

※本校の結果については、調査対象の学年の児童が少ないため、平均値やレーダーチャート等の表示はしておりません。他学年の体力テストの結果等もふまえ、全校に関する傾向を分析し、継続・改善の取組を進めてまいります。